

CAMBRA™ 定期管理予防セミナー

【CAMBRA™ 診療フロー編】

これからの予防歯科のスタンダード
全米トップシェアのう蝕管理
「キャンブラ」を学ぶ、導入する。



日本へ、地域へ、
これからの歯科医療プログラムを。

全米歯科大学65校中、40校が採用！
世界基準のう蝕管理方法。



CAMBRA™とは「Caries Management By Risk Assessment～リスク評価に基づくう蝕管理～」の略名で、予防歯科の発達するアメリカ、カリフォルニア大学サンフランシスコ校歯学部長フェザーストーン名誉教授が提唱するう蝕予防法です。う蝕は「う蝕を誘発する疾患指標とリスク因子からなる病態因子」と「う蝕を遠ざける防御因子」の2つのバランスによって発生。CAMBRA™はエビデンスに基き、過去のう蝕経験や唾液量等から個々人のう蝕リスクを評価し、それに応じたリスクを下げる為の処置がすべてプロトコル化されています。全米でも広く普及しており、米国65校の歯科大学中、40校が教育プログラムとして導入。また2013年より全世界に向けて放送されているオンラインコースでは30カ国から8,000人が受講。これからの日本の予防歯科診療に欠かせない、世界基準のう蝕管理方法です。

CAMBRA™の考え方やリスクアセスメントの基礎を学ぶ「What's CAMBRA™編」とCAMBRA™を臨床に応用した「CAMBRA™臨床編」「CAMBRA™診療フロー編」がございます。

【CAMBRA™ 診療フロー編】

CAMBRA™を取り入れるにあたり、院内のスタッフに理解してもらえなかったり...
患者さんに理解してもらえず断られたり...、
医院のシステムとして上手く取り入れることができずに悩んでいませんか？

麻生歯科クリニックの歯科衛生士がCAMBRA™を用いてどのようにう蝕予防管理しているのか？
カリスクリーンをどのように活用しているのか？

受付から予防計画まで、CAMBRA™を取り入れた診療フローをライブデモでお伝えいたします。



10.18 (木) in 大阪

